

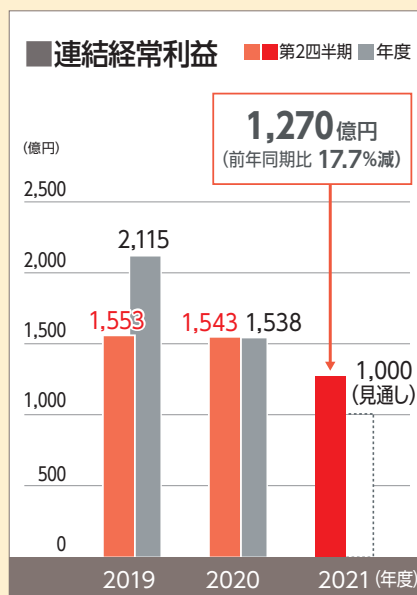
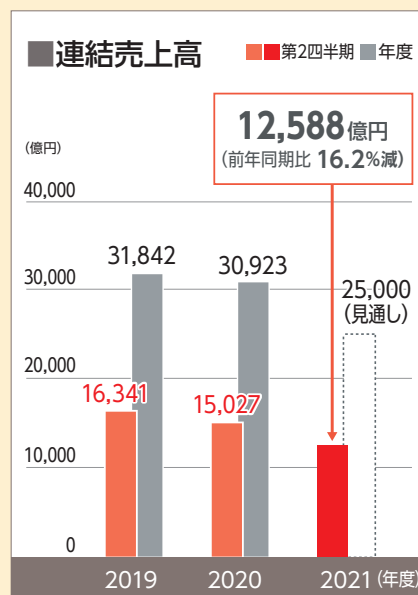
KANDEN REPORT

株主のみなさまには
平素から格別のご高配を賜わり、
厚く御礼を申し上げます。
ここに、第98期の中間報告書を
お届けいたします。

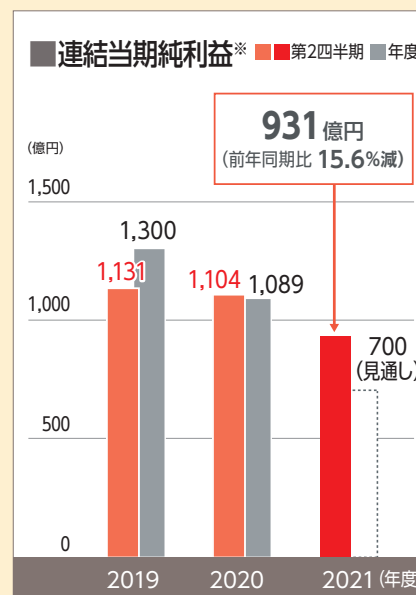


Financial Highlights (2021年度 第2四半期)

- ✓ 原子力利用率の上昇や経営効率化による費用の減少はあるものの、競争激化や為替・燃料価格の影響などにより、経常利益ベースで2年連続の減収減益
- ✓ 通期の見通しにおいても減収減益
- ✓ 2021年度の間配当は1株あたり25円を維持



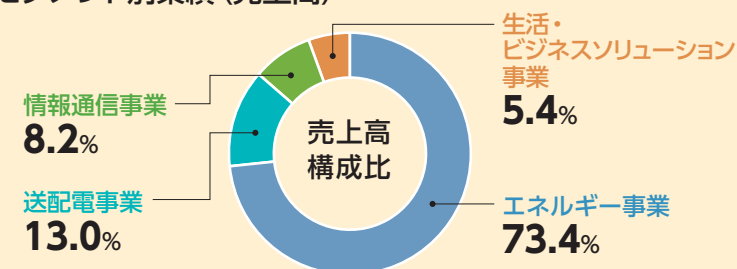
※親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を指します。



■ 決算等に関する詳細情報は、当社ホームページにてご確認ください。

<https://www.kepcoco.jp/ir/index.html>

■ セグメント別業績 (売上高)



⚡ エネルギー事業

9,244億円 22.6%
(前年同期比 △2,694億円) 減

他社販売電力料は増加したが、競争激化などに伴い小売販売電力量が減少したことや、収益認識に関する会計基準等を適用*したことなどから、2,694億円の減収。
※連結経常利益への影響は軽微です。

📶 情報通信事業

1,034億円 4.6%
(前年同期比 △50億円) 減

固定回線ニーズの高まりによりFTTH事業の回線数が増加するも、収益認識に関する会計基準等による影響*や、モバイル事業の料金改定などにより、50億円の減収。
※連結経常利益への影響は軽微です。

🏠 送配電事業

1,633億円 9.8%
(前年同期比 +145億円) 増

新型コロナウイルス感染症の影響による需要の落ち込みの回復等により、エリア需要が増加したことなどから、145億円の増収。

🏡 生活・ビジネスソリューション事業

676億円 31.0%
(前年同期比 +160億円) 増

都市部を中心に、住宅事業において販売戸数が増加したことなどから、160億円の増収。

※2021年3月26日に公表した「関西電力グループ中期経営計画(2021-2025)」を踏まえて、セグメントの見直しを行っております。本セグメント別業績は、見直し後のセグメントに従い作成しております。